

代 表 者

行 政 視 察 報 告 書

平成 30 年 11 月 14 日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員  
山本 良二  
呉市議会議員  
中原 明夫  
呉市議会議員  
林 敏夫

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

平成 30 年 10 月 30 日 (火) , 31 日 (水) , 11 月 1 日 (木)

2. 調査項目

宮城県仙台市

---

宮城県東松島市

---

3. 参加議員

山本 良二, 林 敏夫, 中原 明夫

## 宮城県仙台市

### ■調査項目

東日本大震災後の避難所運営、復興交付金及び震災復興室について

- ・調査対応者

市民生活課

大友主幹

減災推進課

飯島主幹兼地域支援係長

震災復興室

鈴木震災復興担当課長

震災復興室

佐々木技師

議会事務局調査課

松村課長

- ・調査期日

平成30年10月30日（火）午後2時～午後4時

- ・仙台市の概要

人口：1,089,283人

世帯数：515,063世帯

- ・調査目的

西日本豪雨災害復興に向けた参考にするため、宮城県仙台市の復興状況や避難所運営の視察を行った。

### ■調査内容

#### 【仙台市からの説明】

仙台市の特色ある施策としては、市内192ヶ所の指定避難所全てに災害発生時に業務量の増減の少ない部署（192課）を担当課として指定して、地域との交流や情報交換を担当させることにより、地域との信頼関係を醸成させている。被災時はこの担当部署が地域の情報を危機管理部署と共有し、災害対応にあたる体制を確立している。

### ■質疑応答

仙台市に関しては、指定避難所への担当課割り当てに関する事項について質疑応答を行った。

Q 業務量が少ない192課を指定していると言うことだが、その指定が変わることはないのか。

A 信頼関係の醸成のため、変わったりはしません。

Q 192課からどのような手法で情報提供を受けたのか。

A 直接それぞれ192課から情報提供を個別に受けていました。

【呉市での展開の可能性】

呉市における指定避難所運営においても仙台市の担当課を配置して、地域との信頼性向上と被災者寄り添った運営を構築できないか検討していきたい。

宮城県東松島市

■調査項目

東日本大震災後の復興への取組について

・調査対応者

復興政策部

浅野部長

防災課

佐々木課長

防災課

松村危機管理監

議会事務局

高橋局長

・調査期日

平成30年10月31日（水）午後2時～午後4時

・東松島市の概要

人口：40,192人

世帯数：15,827世帯

・調査目的

西日本豪雨災害復興に向けた参考にするため、東松島市の復興状況や避難所運営の視察を行った。

■調査内容

【東松島市からの説明】

東松島市の特色ある施策としては、災害公営住宅整備において8種類もの間取りを用意して、被災者のニーズに対応している。

震災がれきの処理を東松島方式のリサイクルと称し、被害者を中心とした市民役800人を雇用して、震災がれき110万tの90%をリサイクルしている。

**【質疑応答】**

Q どのような財政運営だったのか。

A 復興補助金が75%、単市で15%負担でしたが、単市分は特別交付税により措置されました。

**【呉市での展開の可能性】**

呉市における今後の災害がれきの処理についても、今後被災した場合、災害廃棄物のリサイクルにおいて東松島市方式を参考にしていきたい。

---